

学校名 [福室小学校]	氏名 [金子 圭太]
[小] 学校 [4・5・6年30]	年版 単元名 [救急車の呼び方を知ろう P35～
教科・領域名 [総合的な学習の時間] [時間 45分]	
主な学習活動 (実際に行った活動)	指導の実際
<p>【ねらい】</p> <p>万が一に備えて、救急車の正しい呼び方を知る。</p> <p>1 大きな地震が発生したら、どんな危険があるかを考える。</p> <p>2 本時の学習課題をつかむ。</p> <div data-bbox="236 719 710 770" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 救急車のよび方をおぼえよう。 </div> <p>3 救急通報の仕方を知る。(10分)</p> <p>○ 何番にかけますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 119番 <p>○ はじめに何を聞かれますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事故ですか。救急ですか。 <p>○ どんなことを伝える必要があるでしょう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 場所 ・ どんな様子か <p>4 それぞれの想定に応じた通報の仕方を考える。(10分)</p> <p>○ それぞれの想定に合った受け答えを考えて、ワークシートに記入しましょう。</p> <p>5 救急通報の練習をする。(15分)</p> <p>○ グループごとに、救急通報の練習をしましょう。</p> <div data-bbox="284 1355 702 1641" style="text-align: center;">  </div> <p>6 本時の学習を振り返る。</p> <p>○ 今日の学習で分かったことや感じたことなどを書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物が落ちてきたり倒れてきたりするなどの発言を取り上げ、けがや事故の話題につなげる。 ・ 救急通報は、災害時に限らず使える知識・技能であることをおさえる。 ・ 1学期の社会科の学習を振り返らせながら、通報の手順を確認する。 ・ 救急であること、けが人の状態、場所、通報者の名前と電話番号を伝える必要があることを押さえる。 ・ 携帯電話から通報する場合、固定電話から通報する場合、公衆電話から通報する場合の違いについても確認する。 ・ はじめに全体で、救急通報の流れを確認する。(教師→消防局 児童→通報者) ・ グループの代表者にカードを引かせ、引いたカードの想定ではどのような受け答えをしたらよいかをグループで話し合わせ、ワークシートに記入させる。 ・ 「消防局」「通報者」「観察者」を分担し、救急通報の練習をさせる。 ・ 「観察者」には、困った時のアドバイスや友達の良かったところの発表をさせる。 ・ ロテーションで、全員がすべての役割を行うよう指示する。 ・ 時間があれば、全体の前で代表者に救急通報のデモンストレーションをさせる。 ・ 本時の学習感想をワークシートに記入させ、数名に発表させる。
<p>【児童感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 救急車の呼び方が分かりました。もしも、たおれている人などがいたら、電話をかけられるようにしたいです。 ・ 最初は通報するのが緊張してできないと思っていた。でも今日勉強して緊張しないようになりました。 	

	<p>【準備物】</p>